

湯沢CS通信

令和7年3月14日第80号
(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当

今年度の活動に感謝

委員の皆さんには、学校運営協議会に参加していただき、学校の課題(地域の課題)の解決策を協議していただくとともに、課題解決に向けて様々な活動をしていただきました。本当にありがとうございました。各学校から提出していただいた評価書を基にして、成果と課題をまとめました。



成果① 熟議を行って学校の課題(地域の課題)の解決策を話し合うことができた。

熟議は、教育に関する多様な当事者が参加することで効果が上がると言われています。今年度は、児童生徒の参加が多くありました。「より多くの地域の方に参加していただくことで、より一層充実すると思います。」という建設的な意見もいただいています。

成果② 地域人材の授業への協力が進み、学習活動が充実している。

授業だけではなく、学校の様々な活動にボランティアとして地域の皆さんが参加してくださいました。地域学校協働活動推進員の皆さんの働きかけに感謝しています。

成果③ 児童生徒が地域とつながる活動や地域行事に参加する機会が増えている。

児童生徒が、地域の高齢者と触れ合う活動を行ったり、福祉施設を訪問して演奏活動を行ったりする活動が増えています。地域とともにある学校づくりの具現化が進んでいます。

課題① 保護者や地域住民へのCSの周知が十分でない。

コミュニティ・カレンダーや学校報の全戸配布、支所や地区センターを利用した学校コーナーなどの設置により地域住民へのCSの周知が進んでいる学校があります。しかし、保護者や地域住民へのCSの周知が進んでいないととらえている委員の方が多くいます。

課題② 自治組織や地域の団体、町内会などとの連携が必要である。

地域とともにある学校づくりの推進には、自治組織や地域の各団体との連携・協働が必要です。学校運営協議会委員の皆さんの力をお借りしながら、学校と地域の各団体がこれまで以上に結び付きを強くし、連携・協働して子どもたちの成長を支援していきたいと考えています。

お知らせ

湯沢市教育委員会では、「令和6年度 CS活動の振り返り」を作成しました。この冊子では、各学校の特色ある実践を紹介しています。ご覧いただき、来年度以降の実践の参考にさせていただければ幸いです。なお、冊子はデータで各学校にお送りしています。

「同じ方向を向くことが大事」

湯沢市立山田中学校長 大沼由和

令和七年度を最後に長い歴史の幕を閉じることになった本校は、今年度の学校経営の重点に「進んで地域に貢献しようとする生徒の育成」を掲げ、コミュニティ・スクールの機能を生かしながら〈地域に打って出る〉決意をした。奇しくも同じブロックの小学校が「地域に貢献しようとする心情を醸成する」ことを重点にしてくださっており、小・中学校における児童生徒の連続した学びをこれまで以上に意識することができたと思う。児童生徒が地域企業が抱える課題を知り、解決策を提案することや、地域の防災について小・中学生が関わり方を考えること、そして地域の歴史や遺跡等について連続した学習をすることで地域のよさを再発見することなど、推進のリードは小学校だったが、中学校も有機的に関わらせていただいた。何より、小・中学校の学校運営協議会委員の方々が心をついにし、まさに百家争鳴の議論をしてくださったことに感謝している。地域の方々の地域に対する思い、子どもたちにかける期待などは、最後の学校運営協議会（合同で熟議を開催、地域住民、中学生を含め総勢六〇名が参加）でしっかり子どもたちにも伝えることができた。本校にとつては、最後の一年に向け、地域に生きる者としてどうあるべきかを真剣に考えることができた熟議になった。地域とともに歩もうとする山田中の最後の一年にご期待願いたい。



CSの強みを生かす

湯沢市立雄勝中学校長 伊藤秀樹

本校の課題は「生徒の主体性・発信力の不足」です。それを解決するため、学校運営協議会では三つのプロジェクト（具体的な取組）を計画し、各委員がそのうちの一つを担当しました（専門または得意分野を選択、プロジェクトチームを組織、二～三名）。

プロジェクト①

地域の課題である放置柿を収穫し、それをドライフルーツにして道の駅で自分たちで販売する（残念ながら販売までには至りませんでした）。

プロジェクト②

地域のよさを発信する。「観光」「温泉」「農業」について調査し、学校祭のステージで発表しました（担当委員からのアドバイスはとても効果的でした）。

プロジェクト③

防災教室（計画は防災士）で学んだことを家族や地域に伝える。避難訓練だけでなく、心肺蘇生法や避難所用テント設営なども体験しました。

教職員だけでは実現が困難なことも、学校運営協議会が動くことで可能になりました。生徒たちの主体性や発信力も少しずつ身に付いてきていると思います。

